



9月・10月の主な研修

- 【動画】サービス提供責任者研修(現任1)「自立を支える訪問介護計画」R8.9.1(火)～R8.10.1(木)講師:佐藤 みちよ 氏
- 【動画】認知症ケア研修制度の理解「権利擁護について」R8.9.15(火)～R8.10.15(木)講師:松本 俊一 氏
- 【ライブ】認知症ケア研修実践力向上「認知症を理解するアセスメントと支援の実践<事例検討>」R8.9.17(木)13:30～16:30講師:石山 麗子 氏
- 【集合・ライブ】医療的ケア児への支援研修「これからの医療的ケア児支援のウェルビーイングを考える」R8.9.17(木)14:00～16:00講師:中尾 寛 氏 他
- 【集合】高齢・障害支援力向上「みんなが幸せ!福祉用具で変わる『力を使わない』移乗と最新おむつフィッティング」R8.9.18(金)14:00～17:00講師:山田 女菜 氏
- 【集合】福祉・医療職の実践力アップ講座「キャリアデザインとセルフマネジメントについて学ぶ」(初任編)R8.9.24(木)13:30～16:30講師:増田 直哉 氏
- 【動画・集合】ケアマネジャー研修 実践力向上(新任)「事例演習(第2回)」①動画:R8.9.10(木)～R8.10.20(火)②集合:R8.10.19(月)14:00～17:00講師:河野 由香 氏

【動画】:開始日(10:00)終了日(17:00)以外は、24時間視聴可

- 【動画】高齢・障害支援力向上「作業環境モニタリングと支援のコツ」R8.9.28(月)～R8.10.30(金)講師:関 典子 氏、紫尾田 リエ 氏
- 【動画】こことからだの理解研修(第2回)「高齢者の身体的特徴」R8.9.28(月)～R8.10.26(月)講師:河合 恒 氏
- 【集合】福祉・医療職が学ぶリーダーシップ研修(全3回)「第2回スタッフを育てるリーダーシップⅡ」R8.9.30(水)14:00～16:00講師:諏訪 茂樹 氏
- 【集合】福祉・医療職の実践力アップ講座「キャリアデザインとセルフマネジメントについて学ぶ」(中堅編)R8.10.14(水)13:30～16:30講師:増田 直哉 氏
- 【集合】ひきこもり(8050問題)の理解・支援力向上研修R8.10.15(木)14:00～17:00講師:山崎 啓 氏 田邊 仁重 氏 足立 千啓 氏
- 【集合】介護技術研修(現任3)「リーダーが学ぶ技術研修」R8.10.21(水)18:00～20:30講師:北田 信一 氏
- 【集合】メンタルヘルス研修「支援者のための『わたしも大事 あなたも大事』からはじまるグリーンサポート」R8.10.29(木)17:30～20:30講師:グリーフサポ-トせたがや

在宅療養講演会・シンポジウム

住み慣れた地域でこれからも安心して暮らし続けるために



もしもの時、どこで、だれと、どのように過ごしたいですか? 「わたし」や「あなた」、そして大切な人のための「これから」について、医療・福祉従事者と在宅療養を支えたご家族の話を通して、身近な地域の中にある「備え」のヒントを見つけてみませんか?

- 【日 時】令和8年10月3日(土)午後2時～午後4時30分(開場 午後1時30分)
 【会 場】世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階うめとびあホール(松原6-37-10)
 【内 容】<第1部>基調講演
 講師 高橋 裕子(世田谷保健所烏山保健相談課長)
 <第2部>シンポジウム コーディネーター 高橋 裕子
 在宅療養を支えたご家族
 太田 雅也 氏(世田谷ホームケアクリニック 院長)
 広本 正子 氏(砧介護保険サービス 管理者)
 葉柳 希望 氏(マイナビ訪問看護ステーション経堂サテライト 所長)
 中山 千尋 氏(ヘルパーステーションモア世田谷経堂 サービス提供責任者)
 【申 込】せたがやコール TEL 03-5432-3333 FAX 03-5432-3100
 午後8時～午後9時(年中無休) または、Webフォームにて申込。(9/1～)

在宅療養に関心のある方
どなたでも
参加できます。

在宅療養講演会・シンポジウム

もしもの時、どこで、だれと、どのように過ごしたいですか? 「わたし」や「あなた」、そして大切な人のための「これから」について、医療・福祉従事者と在宅療養を支えたご家族の話を通して、身近な地域の中にある「備え」のヒントを見つけてみませんか?

令和8年10月3日(土)
 午前11時30分～午後4時30分
 世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階うめとびあホール
 参加費 無料
 事前申込 必要
 申込期間 9月1日～9月30日
 申込方法 せたがやコール、Webフォーム、会場受付

第1部 基調講演
 講師 高橋 裕子(世田谷保健所烏山保健相談課長)
 第2部 シンポジウム
 コーディネーター 高橋 裕子
 在宅療養を支えたご家族
 太田 雅也 氏(世田谷ホームケアクリニック 院長)
 広本 正子 氏(砧介護保険サービス 管理者)
 葉柳 希望 氏(マイナビ訪問看護ステーション経堂サテライト 所長)
 中山 千尋 氏(ヘルパーステーションモア世田谷経堂 サービス提供責任者)

Web申込み
 こちら
 9/1～9/30

QRコード



【研修センター公式ソーシャルメディア】

世田谷区福祉人材育成・研修センター
 公式X(エックス)

フォローしてください!
 @SetagayaKenshuC

QRコード

区内事業者・区民の皆さまに、研修センターの情報を公式X(エックス)をとおして、ご案内します。

- ・研修のご案内
- ・イベントのご案内
- ・広報誌
- ・お知らせ 等

発行: 世田谷区福祉人材育成・研修センター
 〒156-0043 世田谷区松原6-37-10
 世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階
 電話: 03-6379-4280
 FAX: 03-6379-4281
 H P: <https://www.setagaya-jinzai.jp/>



世田谷区福祉人材育成・研修センター

だよ

じんざいくん便り

令和8年8月 第38号



夏休み小・中・高校生福祉体験を実施しました



今年も「夏休み小・中・高校生福祉体験」を実施し、約400人の方に参加いただきました。

車いすや介護ベッド、ボッチャ体験、特別養護老人ホームの取り組みや福祉機器の説明、リハ・スポーツの動画視聴、福祉クイズなどを通して、「だれもが幸せに暮らせるまち」についてみんなで学びました。

- 参加者の声
- ボランティアでもう一度、福祉施設に行きたい。(高校生)
 - 介護者の人たちの努力がすごい。障害を持っている人が楽しく生活できている良いと思った。(中学生)
 - 祖父、祖母の介護をしたいと思った。(小学生)
 - 将来の夢に「介護で働く」が加わった。(中学生)

取材がありました
 イッツコム取材がありました。
 TV放送後YouTubeチャンネルで配信されます。

ご視聴はこちらから

福祉の出前入門講座を実施しています

区内の学校や関係機関に出向き、福祉の理解を深めるため、福祉施設の動画視聴、車いすや高齢者疑似体験など、「福祉の出前入門講座」を実施しています。

小学校では、地域のボランティアに協力をいただき、社会福祉協議会職員とともに「福祉のお話」「車いす体験」を行いました。

「福祉のお話」を通して福祉についてみんなで考えたり、「車いす体験」では、障害のある方が安心して住み慣れた地域で暮らせるまちについて、車いすを使用する立場に立って考える機会となりました。

みんなで手助け!

地域ボランティアの方と一緒に車いす体験

小学生の声

- 車いすが意外と快適だった。
- 車いすに座っていると、自分の後ろが見えなくて怖かった。
- お仕事で車いすを押す人は、段差や声かけのことを気にかけてながら動いていて、すごいと思った。

訪問看護のおしごととセミナー【年3回開催】



「訪問看護の就労支援講座」が「訪問看護のおしごととセミナー」にリニューアル! 訪問看護に関心があり看護師を目指す方を対象に加え、訪問看護にまつわる内容をテーマに、年3回開催いたします。6月に開催した【1回】では、在宅において実際に使用されている機器の操作を体験しました。

今回は、地域医療に取り組む医師の講演と、現役の訪問看護師との懇談会を予定しています。訪問看護を目指す方、既に就労している方も、ぜひご参加ください。

「訪問看護のおしごととセミナー」にリニューアル! 訪問看護に関心があり看護師を目指す方を対象に加え、訪問看護にまつわる内容をテーマに、年3回開催いたします。6月に開催した【1回】では、在宅において実際に使用されている機器の操作を体験しました。

今回は、地域医療に取り組む医師の講演と、現役の訪問看護師との懇談会を予定しています。訪問看護を目指す方、既に就労している方も、ぜひご参加ください。

【参加者アンケートより】●実際に医療機器の操作を体験して、患者さんが日常生活の中で、どのように管理しながら生活しているのかイメージすることができました。●知らない分野だったのでとても勉強になりました。

研修ピックアップ

世田谷区ケアマネジャー研修 実践力向上【新任】事例演習

～わかれると仕事がおもしろくなる アセスメントの基礎～

「世田谷区ケアマネジメントの基礎知識」を通して、アセスメントの重要性、情報収集とニーズのとらえ方等ケアマネジメントの基礎を学び、事例演習を通して理解を深めます。

第1回：①動画視聴：5/29（金）～6/30（火）
②集合研修：6/29（月） 14～17時

講師：桑原 典江氏
やさしい手下高井戸居宅介護支援事業所
主任介護支援専門員
（動画研修・第1回集合研修）



第2回（予定）：
①動画視聴：9/10（木）～10/20（火）
②集合研修：10/19（月） 14～17時

講師：河野 由香氏
池尻あんしんすこやかセンター
主任介護支援専門員
（動画研修・第2回集合研修）



まもなく開催！

世田谷区ケアマネジメントの基礎知識とは、アセスメントを実施する上で、ケアマネジャーが知っておくべき基礎知識のこと。テキスト「ケアマネジメントの基礎知識」による「8領域21ニーズ」に基づき、アセスメントのポイント、情報収集、ニーズのとらえ方などをまとめ、ニーズの発見につなげるものです。

ニーズとは
よりよい生活を達成するために解決すべき課題のこと

講師も演習講師も実際に世田谷区で活動している主任介護支援専門員です

一緒にがんばりましょう！

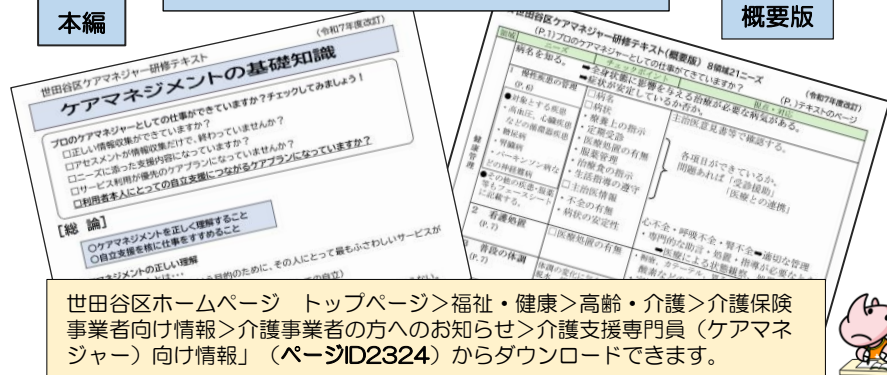
世田谷区ケアマネジャー研修体系

ケアマネジャー研修			その他の研修	《参考》
階層	実践力向上	リーダーシップ向上	専門性向上	介護支援専門員 資格・法定研修
リーダー	・事例演習 ・リーダー養成	・世田谷区主任介護支援専門員 ・今後のケアマネジメントを考えよう ・スーパービジョン	・対人援助技術 ・こころとからだの理解 ・医療・福祉連携 ・障害福祉の理解 ・認知症ケア ・人権の理解促進 ・家族支援	主任介護支援専門員研修（70時間） 更新研修（46時間）
現任	・事例演習			専門研修課程Ⅱ（32時間）
新任	・事例演習			専門研修課程Ⅰ（56時間）
共通	・コンプライアンス ・ファシリテーション ・世田谷区の組織と社会資源	・役割理解		実務研修（87時間） 介護支援専門員実務研修受講試験

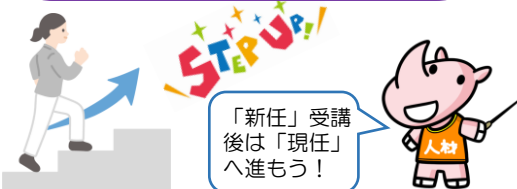
「リーダー養成」を受講するには、【新任】事例演習・【現任】事例演習の修了が要件となります。

研修センター 令和8年度 事業案内P22参照

「ケアマネジメントの基礎知識」テキスト



世田谷区ケアマネジャー研修の「実践力向上」シリーズは、**新任→現任→リーダー**の階層に分かれています。世田谷区のケアマネジャーになったら、まずは「**新任**」を受講し、「**世田谷区ケアマネジメントの基礎知識**」を学びましょう。知識の再確認や、学び直しの機会としてもおすすめです。



◎研修目的

「世田谷区ケアマネジメントの基礎知識」「8領域21ニーズ」を理解し、ケアマネジメントの基礎を学ぶ。

◎研修の流れ

動画視聴後、共通事例の「ニーズの根拠」「援助の方針」を作成→集合研修でグループごとに事例演習を行う。

◎到達目標

要望型プランと自立支援型プランの違いを認識し、利用者に自立支援型ケアプランの提案が行えるケアマネジャーを目指す。

受講者の声（「新任」事例演習 第1回 受講者アンケートより）

- 8領域21ニーズを実際にどのように用いるのか、事例演習に取り組んでみて理解できました。
- テキストのチェックボックスが大変わかりやすく、今後のアセスメントやモニタリングに活かせると感じました。利用者訪問の際にテキスト概要版を持参して、項目を確認しながら面談したいと思います。
- 他の方の意見を聞くことで、思わぬ気づきが得られた。
- 講師、ファシリテーターの説明がとてもわかりやすかったです。皆さん実地に経験を積んだ先輩で、何気ないコメントにも豊富にヒントが含まれていて、とても参考になりました。
- 実務で使えるような内容が多く、有意義だった。

「失語症の人との会話が深まる失語症の理解とコミュニケーション方法」

【集合研修】

開催日：令和8年6月26日（金）
13時30分～16時30分

講師：安保 直子 氏

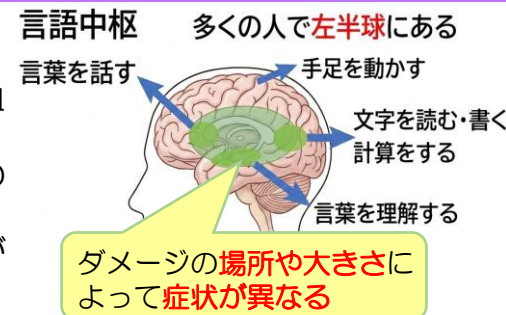
世田谷区保健センター
専門相談課・言語聴覚士

失語症のある方は、会話の機会の減少から孤独を感じやすく、意思表示が困難なため、周囲が本人の意図を理解して適切な支援を行うことが難しいという課題を抱えています。

この研修では、失語症の基本的な知識とコミュニケーション技術を得るに向けて理解を深め、より良い支援の提供方法について学びました。

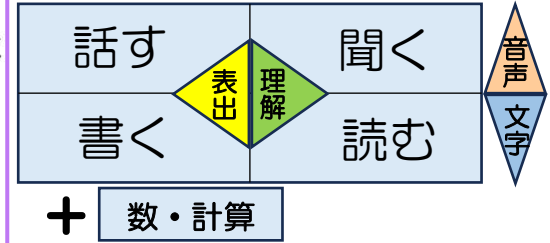
失語症とは？

失語症とは、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害(脳卒中)や交通事故などにより、大脳の言語中枢が損傷することで「言葉を操る能力」に障害が残った状態です。



失語症の症状

言語の4側面に障害



失語症の症状とコミュニケーションのコツ

症状の側面	主な症状・特徴	コミュニケーションのコツ
聞く	早口や複雑な話、長い話が理解しにくい。	ゆっくり、はっきり、短い文で話す。要点を漢字単語で書き示しながら伝える。
読む	長い文章や仮名文字の理解が難しい。	文章で示さず、簡単な漢字単語や絵、記号（○・×・⇒など）を使う。
話す	言いたい言葉が出にくい、言い間違える。	先回りせずじっくり待つ。言い誤りは訂正せず確認。「はい・いいえ」で答えられる質問。
書く	文字が思い出せない、特に仮名が難しい。	50音表は使えない。書くことを強要しない。不完全な文字でも訂正しない。
数・計算	日時や金額を言い誤る、聞き誤る。	数字は聞くより、見る方が理解しやすい。数字に関することは、必ず書いて示す。

コミュニケーションを深めるポイント

1. 視覚的な道具を活用

- 写真 ■カレンダー ■地図 ■タブレット など

これらの道具を身近に置き一緒に使いながら会話を進めることで理解を深め合えます。

2. 質問の仕方を工夫する

- 「はい」「いいえ」で答えられる質問を重ねる。質問は大枠から絞る。
- 「お茶・コーヒー・紅茶」など具体的な選択肢を示し、選んでもらう。

3. わかった振りをしない(確認)

言い間違いや聞き間違いもあるため、要点を紙に書き示しながら会話を進めることが、お互いの確認になる。表情をよく見ながら話を進めることも大事。

言語以外の側面は保たれている

- その人らしい人格や感情表現
- 出来事の記憶や、状況を判断する力
- 時間や場所の感覚、社会的な礼節
- 音楽、絵画、趣味などを楽しむ力

失語症のある人の気持ち

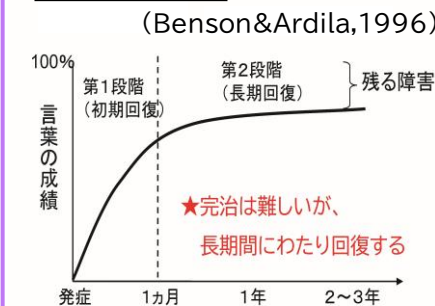


自信喪失、絶望感、孤独感、無気力、疎外感、昔の友人との疎遠

失語症のリハビリテーション

- 言語機能の回復
- コミュニケーション方法の確立
- 心理的サポート
- 社会参加への支援

失語症の回復



社会参加への支援

- 通所リハ、デイサービスの活用
 - 失語症友の会、自主グループへの参加
- 当事者が安心して会話ができる機会を多く持つことが大切です。

世田谷区では、令和2年より、「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業」を開始

- 外出場面等での意思疎通支援
- 失語症サロンでの支援を実施

「失語症」の壁は、接し方ひとつで、低くなります。

【受講者の声】

演習で当事者の方と直接お話しし、学ぶことが出来ました。